

公益財団法人 静 嘉 堂
平成 23 年度 事業 計 画 書
自 平成 23 年 4 月 1 日 至 平成 24 年 3 月 31 日

1. 開館日数

文庫 301 日（うち閲覧日数 250 日）
美術館 301 日（うち展示日数 188 日）

2. 展覧会

〈平成 23 年〉

静嘉堂の東洋陶磁 PART II ー 日本陶磁名品展

4 月 9 日（土）～6 月 12 日（日） 〈56 日開催〉

美濃焼・唐津焼・備前焼・樂焼・京焼・伊万里焼など、桃山～江戸時代の名品を中心に静嘉堂の日本陶磁コレクションを幅広くご紹介する初めての展覧会です。

日本における辞書の歩みー 知の森への道をたどる

6 月 25 日（土）～7 月 31 日（日） 〈32 日開催〉

平安時代の漢和辞書から江戸時代の英和辞書まで、日本におけるさまざまな辞書の歩みを、それらが生み出された時代背景や特徴などにも注目しつつご紹介します。

静嘉堂の東洋陶磁 PART III ー 朝鮮陶磁名品展

ー高麗茶碗、螺鈿漆器、華角張とともにー

10 月 1 日（土）～12 月 4 日（日） 〈56 日開催〉

「翡色」と称された美しい高麗青磁、朝鮮王朝時代における粉青（ふんせい）と、白磁、青花（染付）磁器が展開してゆく様子を、館蔵の優品によって紹介します。日本の茶道具となった「高麗茶碗」、漆芸品からも螺鈿（らでん）や華角張工芸などを展示いたします。

〈平成 24 年〉

予定：「サムライたちの美学ー新刀と刀装具にみる粋の心」（仮）

2012 年 2 月 4 日（土）～3 月 25 日（日） 〈44 日開催〉

桃山期の磨上すりあげの古刀から江戸時代の各藩お抱え刀工による新刀・新々刀など、新刀期以降の作刀を、刀装や装剣小道具、印籠の優品、江戸の風俗図などとあわせ紹介。武士たちのファッションとしての刀剣に注目する。